

横浜市議会議員

まるおか
丸岡
いつこ

地域政党 神奈川ネットワーク運動

神奈川県議会議員

わかばやし

若林
ともこ

暮らしと政治をつなぐ
広報紙 No.109

ネット・青葉レポート

http://aoba.kgnet.gr.jp/

〒227-0062 横浜市青葉区青葉台2-5-10フォーリアヴェルデ301 TEL:045-989-3050 FAX:045-989-3051

介護保険事業計画に市民の声を



*「第5期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画素案」
●1/23までパブリックコメント実施中

横浜市では、現在高齢者保険福祉計画、介護保険事業計画の策定に向けて説明・意見募集を行っています。横浜市の調査によれば、自宅で暮らす要介護者の7割が「在宅介護サービスを使い、自宅で暮らし続けたい」と

**暮らしを支える
サービスが必要**

2012年4月からの第5期介護保険事業計画改定に向けた議論が進められています。今年6月国会で可決された改定では、医療・介護・予防などの連携や、24時間対応で行なう定期巡回・随時対応サービス等の創設、自治体判断による予防給付と生活支援の総合事業等が示されています。しかし、ここ数年の改定ごとに新設されるサービスは、充分機能していないとの指摘があります。

**最も高い？
横浜市の介護保険料**

答えています。生活援助サービスや食事サービスなどが暮らしを支えています。また、家族にとつてはショートステイなどのレスパイトサービスが必要とされています。当事者や家族のニーズにこたえ、在宅生活を望む人たちを支えるしくみを整えることが必要です。

計画素案では、介護保険料の改定案も示されています。横浜市の介護保険料は、県内で最も高い4500円ですが、来年度からは、さらに5200円に引き上げるとしています。これまでの介護保険事業の黒字を積み上げた介護保険準備基金49億円や神奈川県基金のうち横浜市が拠出した18億円を取り崩せば保険料額はもつと引き下げられるはずですが、現場や当事者からも声を上げていくことが必要です。パブリックコメントにご意見をお寄せください。

- ◆神奈川県内市町村の介護保険料額
平均：4,106円
(全国平均：4,160円)
- ◆横浜市保険料額
4,500円

若林ともこの(県議会)レポート

災害廃棄物の処理対策への取組み

震災対策調査特別委員会報告

<http://twakabayashi.kgnet.gr.jp/>



黒岩知事は、東日本大震災で発生した災害廃棄物の受け入れを表明しました。今後、横浜、川崎、相模原の3市などと調整しマニュアルを作成し具体的な受け入れについての方策を検討するとしています。県が管理する最終処分場「かながわ環境整備センター」(横須賀市)に放射性物質を含んだ廃棄物を搬入することは、県と地元との協定では想定されておらず、今後丁寧な説明と合意のプロセスが求められます。

一方、県内で大規模地震が発生した場合、最大で約5670万tの災害廃棄物が発生すると推計されていますが、県内33市町村の焼却施設の年間処理能力は合わせて313万t。委員会質疑では、市町村における災害廃棄物処理計画の策定状況は33市町村中、19にとどまり、市町村が行なう一般廃棄物処理施設の耐震化についても、県内26施設のうち6施設の耐震化が終わっていないことが明らかになりました。また、これまで適正処理が困難とされて来た廃棄物も、主としてアスベストやPCB等でしたが、放射能汚染物の処理のあり方も考慮されるべきです。今後、新たな地震被害想定に基づき、災害廃棄物処理に関わる、大綱、指針、マニュアルを改定するとの答弁を得ました。

神奈川ネットは、**地域政党**です。

1984年に青葉区(旧緑区)で、カンパとボランティアの選挙で最初の議員を誕生させて以来、議員は2期8年で交代しながら生活者の視点で発言し、市政・県政の改革に取り組んでいます。

あなたのご意見をお寄せください
FAX:045-989-3051